

名古屋市立二城小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、9月12日(火)に名古屋市立二城小学校、4年生3クラス(100名)を対象に出前講座を実施しました。

講座の狙いは、二学期に入り、ゴミについて調べ学習をする際に、藤前干潟の生きものや環境学習を通してゴミ問題への関心を高めるということでした。まず干潟の仕組みや藤前干潟の生きものについて話し、干潟保全の経緯と国際的に重要な湿地としてラムサール条約登録湿地になったことを伝えました。そして現在、藤前干潟が抱える課題として、漂着ゴミの問題とゴミの中には危険なものがあることや、新たに注目されている海洋ゴミとしてマイクロプラスチックについても紹介しました。また、その他に、干潟を紹介するDVDの鑑賞や、干潟の泥の感触を確かめてもらいました。

二城小学校は守山区にあり、藤前干潟に行ったことがある児童は少なかったですが、近くに庄内川があり、藤前干潟とつながっていることを伝えました。今回の講座で干潟に住むたくさんの生きものが漂着ゴミで苦しんでいることを知って、胸を痛めている様子でした。今後は、機会があれば藤前干潟に来て生きものの様子を間近で見たり、ゴミの存在を意識して日々行動するなど、一人一人が問題解決に向けてできることを考えていくきっかけになればと思います。



*出前講座の様子 2

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟ってどんなところ？

1. 干潟ってなんだろう？
干潟の仕組み・成立ち（砂泥の観察）
2. どんな生きものがいるの？
DVD 鑑賞、
鳥類、底生生物の紹介、食物連鎖
3. 藤前干潟の歴史
4. 藤前干潟の問題
漂着ゴミとマイクロプラスチック



*出前講座の様子 1（干潟の砂泥の観察）

3) 実施概要

実施日：平成29年9月7日（木）9:35～12:20
(1時限×3回)

場所：名古屋市立二城小学校（守山区）

対象：小学校4年生（3クラス、100名）、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所（TEL：052-389-2877）までお問い合わせください。

2017年9月13日
名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 吉塚藍